

福井麦栽培情報

福井県産【大麦・小麦】の
収量アップを目指して！！

JA福井県

No.5

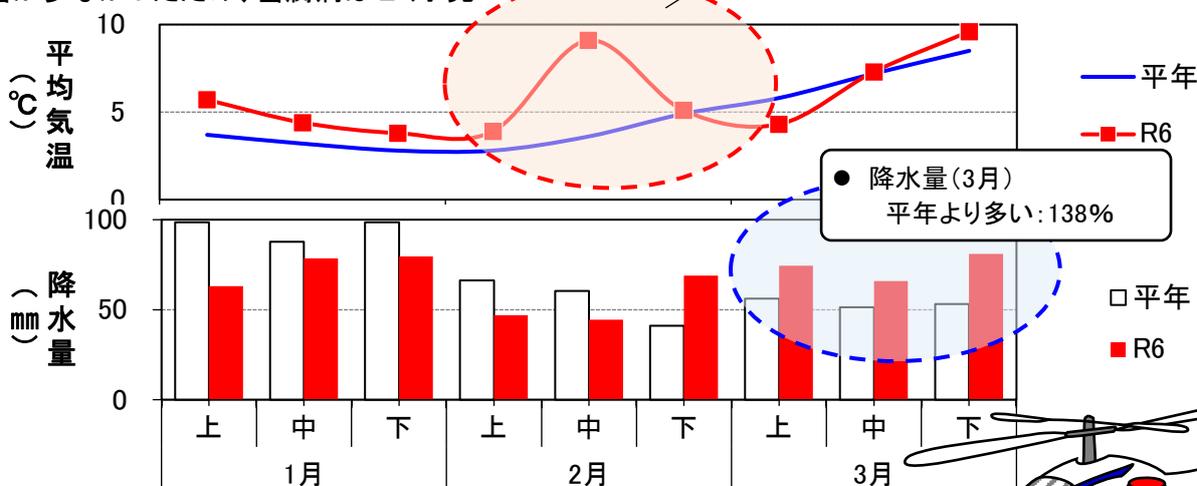
(小麦：福井県大3号)

● 適期赤かび病防除と実肥で品質向上！！

本年は暖冬の影響もあり、早い圃場では出穂が始まりました。気象庁のデータでは、4月前半の平均気温は平年より高く(確率70%)降水量・日照時間はほぼ平年並み(確率40%)と発表されております。高い気温が続けば生育も更に促進されます。今後は生育状況を確認し適期赤かび病防除の徹底と実肥の施用で品質向上に努めましょう。

1. 生育状況

- 平年より草丈は長く、茎数はやや多い
- 出穂期は平年より5日程度遅く、播種時期により圃場差はある
- 積雪が少なかったため、雪腐病はごく小発



2. 赤カビ病防除・実肥

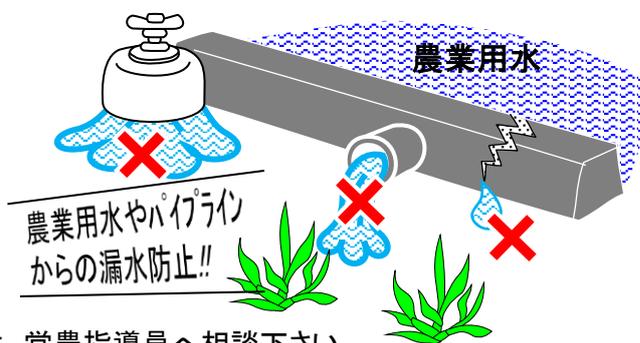
- ① 今後気温が高く雨が多くなると赤かび病の発生が懸念
 - 1回目防除 開花始期(出穂期から17日頃)その後、7~10日おきに2回防除を実施
 - 小麦は3回防除が必須
- ② 子実たんぱく含量向上の為、開花期(出穂期から20日頃)に実肥を施用
 - 窒素6kg/10a以上

【赤カビ病防除:小麦】

防除時期	薬剤名	使用時期	使用量(10a)
1回目	(開花期) トップジンMゾル	収穫14日前まで	0.8ℓ
2回目	(1回目7~10日後) ミラピスフロアブル	収穫7日前まで	0.8ℓ
3回目	(2回目散布後初発確認後) トップジンM粉剤	収穫14日前まで	4kg

3. 排水対策の徹底と農業用水の漏水防止

圃場内に水が停滞し続けると、根傷みによって小麦の収量・品質は大きく低下します。排水溝から落水口までの手直しと、農業用水(パイプライン)からの漏水がないか点検を実施しましょう。



★小麦の生育状況や防除については、営農指導員へ相談下さい。